

N. Kobayashi
Ballet Theatre

同時上演
振付：フレデリック・アシュトン
Choreography: Frederick Ashton

レ・パティヌール



最もチャミングで優美な
アシュトンの 遊
律と

華やかさと高揚感に満ちた
マクミランの 遊
律と

Choreography: Kenneth MacMillan

ケネス・マクミラン振付

ザ・フォーシーズンズ

日本初演

●出演者 島添亮子 八幡朝光 大森結城 富川直樹 真野琴絵 望月一真 池可奈子 濱口千少 荒井成也 上月佑馬 吉瀬智弘 宮澤芽実 松原聖子 松山美月 武田麗香 島紗結梨
長村紗良 中村悠里 武田彩希 吉原慶子 須田莉那 三浦 舞 飯田穂香 森木寧々 堀島さや香 沖本悠衣 川原陽子 矢作雪乃 中場咲妃 中澤璃子 浅井敬行 川合十夢 小山 杏
竹下虎志 田辺 淳 廣瀬 陽 情野詠太 高野大希 陸栗萌奈 ほか小林紀子/バレエ・シアター

小林紀子バレエ・シアター 創立50周年記念公演シリーズ
アシュトン・マクミランプログラム
『レ・パティヌール』『ザ・フォーシーズンズ』(日本初演)

2022/9/3 (土) 15:30 9/4 (日) 15:30

会場：新国立劇場中劇場

〒151-0071 東京都渋谷区本町1丁目1番1号

◆交通のご案内

【電車】京王新線(都営新宿線乗り入れ)新国立劇場駅(初台駅)中央

口直結(京王線は止まりません)

【バス】劇場地下に駐車場がございます。山手通り、千代田通交差点

富都駅西4号線新国立劇場出口・初台出口、首都圏中央環状線中

野長崎出口・初台西出口より



お申込・お問合せ

■小林紀子バレエ・シアター 03-3987-3648

■チケットぴあ <https://pia.jp> (コード:513-248) ■イープラス <https://eplus.jp>

好評発売中

入場料 (全席指定・税込)

S=Y11,000 A=Y9,000 B=Y7,000 C=Y6,000

(注)全席指定

●チケットは一人1つまでお買いただけます。●年齢や学年の枠を超えてご入場はご遠慮ください。●お子様の席上での保護はご自身の方で、お子様もチケットが必要となります。●お申し込みの際は「お申し込み」欄に必ずお名前を記入してください。●当日劇場内でお申し込みはできません。●お申し込みの際は、購入されたチケットの払い戻しはできません。お振替の振替手数料はクレジットカード決済等の場合も、払い戻しはできませんので、チケットご購入の際は、ご自身の体調や環境をふまえてお申し込みください。●公演の感染予防対策

入場時のオーモゾフナー等での検温、スタッフによる検温のマスク着用、館内の清掃、消毒、換気、観客席席の1倍制限等、東京都イベントガイドライン等に対応した感染予防対策を行います。さらに詳しくは感染予防対策について、小林紀子バレエ・シアターウェブサイト(「感染予防対策」)をご覧ください。主催者側は、チケットご購入の際にご確認ください。【公演の感染予防対策】

主催：有限会社小林バレエ事務所

後援：一般社団法人日本バレエ団連盟

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会





MAIN CAST

レ・パティヌール

Blue Boy 八幡頭光
Blue Girls 真野琴絵 濱口千歩
White Couple 島添亮子 望月一真

ザ・フォーシーズンズ

島添亮子 望月一真 八幡頭光
真野琴絵 上月佑馬 荒井成也
小山 憲 澁可奈子 吉瀬智弘
富川直樹 大森結城 中村悠里

舞臺のキヤスは2022年7月現在です

芸術監督 小林紀子
指揮 井田勝大
演奏 東京ニューフィルハーモニック管弦楽団
振付指導 アントニー・ダウソン
コレオロジスト 内海百合
バレエ・ミストレス 児玉玲子
衣装スタッフ 横山美樹
衣装製作 チャコット株式会社
ミュージック・スタッフ 青木萌絵
大道具 東宝舞台株式会社
照明 五十嵐正夫
音響 佐藤利彦
舞台監督 森岡肇
制作 小林 功
制作助手 小林健太
主催 有限会社小林バレエ事務所
後援 一般社団法人日本バレエ団連盟



instagram
NKBT.OFFICIAL

祝祭的な華やかさと未来への高揚感

ザ・フォーシーズンズ

日本初演

- 振付 ケネス・マクミラン
- 音楽 ジュゼッペ・ヴェルディ
- 美術 シャーロット・マクミラン

マクミランの『ザ・フォーシーズンズ』の音楽には、ロマン派の大作曲家ジュゼッペ・ヴェルディのグランドオペラ『シチリアの晩鐘』のバレエーションのために書かれた『四季』が主として用いられています。序曲のメロディーは耳に心地よく、祝祭的な華やかさと、未来へのポジティブな意思に満ちています。マクミランの「律」と「遊」が随所にみられるこのバレエに登場するすがすがしい光景は、季節が冬から始まり、春、夏、秋と、変化に富んだ四季が一回りしたあとでも決して失われることはありません。『ザ・フォーシーズンズ』には人間の内側にある本質的な「生命」への希望が描かれているのでしよう。

奥行きのある愛らしさとエレガンス

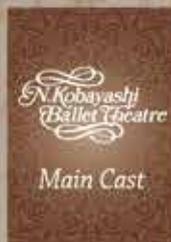
レ・パティヌール

- 振付 フレデリック・アシュトン
- 音楽 ジャコモ・マイヤベーレ
コンスタン・ランパート
- 美術 ウィリアム・チャペル

雪が美しく降り積もったヴィクトリア時代のスケート場に色とりどりのチャーニスランタンがやさしく灯ります。広場のアーチをくぐり抜けてスケートを楽しむ若者たちは、次々と魅力的なダンスを披露します。ロマンティックな気分でするカップル、得意気に滑るパド・トロワや、はつらつとしたブルーボーイなどによるこれらの一連のダンスはいつのまにか、互いに溶け込み合い、エレガントで最もチャミングなアシュトンの「律」と「遊」が広がる世界に観る者を引き込みます。

バレエ団の半世紀におよぶ活動の中心に常にあったのは振付家に対する敬意であり、今回新たな祝祭の手節を始めるにふさわしい作品として浮上したのが『ザ・フォーシーズンズ』でした。

アシュトンのレパートリーの中から最もにぎやかな『レ・パティヌール』と、日本初演となるマクミランの『ザ・フォーシーズンズ』からなる記念公演は、舞台に関わるすべての人たちの献身とパフォーマンスへのオマージュであり、バレエ団の新章を皆さんと分かち合うことができる喜びを爽快に祝うものです。



N. Kobayashi
Ballet Theatre

Main Cast

